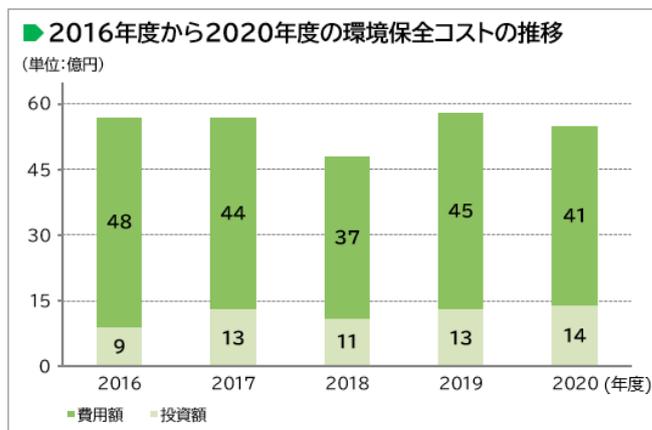


環境マネジメント

ミネバアミツミグループの環境会計

ミネバアミツミグループは、環境保全対策へのコストを認識するため、環境省が発行する「環境会計ガイドライン 2005年版」を参考に、環境会計の集計を行っています。

当社グループの2020年度の環境保全コストの総額は55億円で、前年度と比較して5.5%減少しました。



2020年度の環境保全コスト集計表

(単位:百万円)

環境保全コスト			対象範囲合計		
分類	主な取り組み内容	投資額合計	費用額合計		
1 内訳	生産・サービス活動により事業エリア内に生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト (事業内エリアコスト)	内訳(1)、(2)、(3)の通り	1,407	3,432	
	(1) 公害防止コスト	水質汚濁防止、大気汚染防止など公害防止のための設備の設置、設備償却及び運転・維持管理費用など	246	807	
	(2) 地球環境保全コスト	オゾン層破壊物質を使用しない洗浄装置の設置、高効率タイプ冷凍機の設置、減価償却及び運転・維持管理費用など	1,063	1,877	
	(3) 資源循環コスト	廃棄物処理及びリサイクルのための設備及び費用など	98	748	
2	生産・サービス活動に伴って上流または下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト (上下流コスト)	グリーン調達に伴う分析装置の設置及び材料分析費用。納入者との契約に関わる印刷・収入印紙代など	0	127	
3	管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	環境マネジメント組織の人員費及び環境マネジメントシステムの維持管理費用など	26	501	
4	研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	水洗浄装置の研究開発費用など	0	1	
5	社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	緑地、景観保持のための整備費用など	0	7	
6	環境損傷に対するコスト (環境損傷コスト)	土壌汚染を修復するための土壌入れ替え費用及び浄化装置の運転・維持管理・減価償却費など	0	5	
合計			1,433	4,073	

円換算レート:

1USD=¥105.79 1EUR=¥123.22 1THB=¥3.40 1CNY=¥15.52

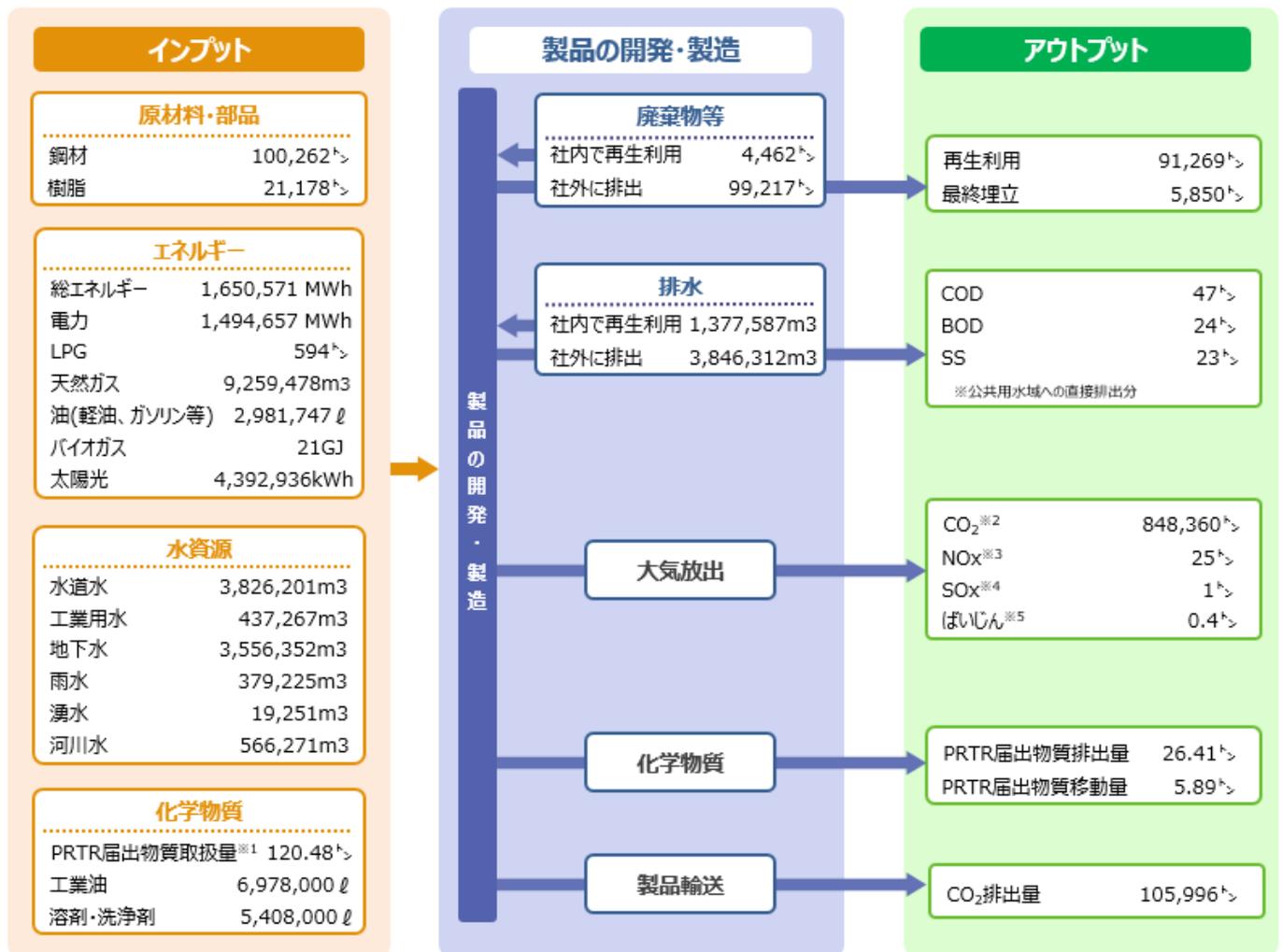
1SGD=¥77.27 1GBP=¥137.55 1MYR=¥25.28 1PHP=¥2.18

ミネベアミツミグループの環境負荷

ミネベアミツミグループは、世界 22 カ国に 95 の生産・開発拠点を有し、主力のベアリングをはじめとする機械加工品、電子機器、回転機器など、多様な製品を生産、販売しています。環境負荷を売上高の生産地域別比率から見た場合、当社グループは日本を除くアジア地域で約 77 %を消費、あるいは排出しています。

2020 年度の当社グループの環境負荷は以下のとおりです。

▶ インプット・アウトプット (2020年度実績)



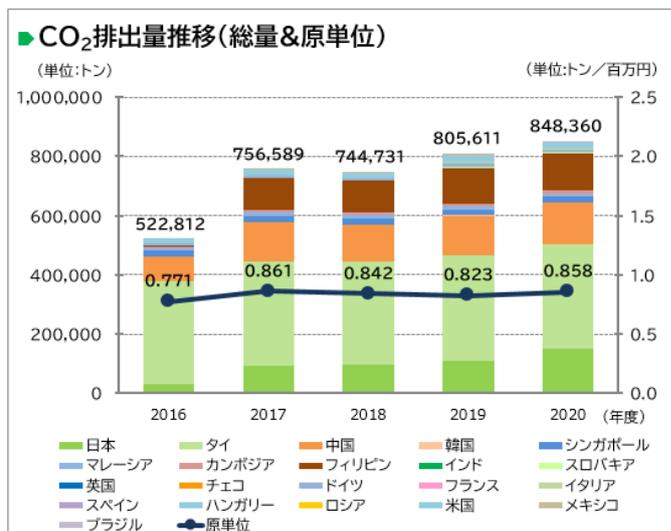
集計範囲： 生産拠点、連結決算の対象、資本比率が100%

※1 PRTR物質：PRTR(化学物質排出把握管理促進法/日本国内法)により排出量・移動量を把握し、届け出ることを定められた化学物質。記載した数値は行政に届出した量
 ※2 CO₂：二酸化炭素
 ※3 NO_x：窒素酸化物
 ※4 SO_x：硫黄酸化物
 ※5 ばいじん：燃焼、加熱および化学反応などにより発生する排出ガス中に含まれる粒子状物質

地球温暖化防止の取り組み

2020 年度の取り組み結果

2020 年度のミネベアミツミグループ全体の CO₂ 排出量は 848,360 トンで前年度と比較して 5.3%増加し、生産高原単位より CO₂ 排出量をとらえた場合は、0.858 トン/百万円で、前年度と比較して 4.3%増加しました。



CO₂ 排出係数を GHG Protocol Calculation tools から IEA Emissions factors 2020 に切り替えて再算定を行った。

物流部門の取り組み

物流の CO₂ 排出量

ミネベアミツミグループは自社の直接の CO₂ 排出であるスコープ 1 (ガス、石油)、スコープ 2 (電気) の CO₂ 排出量に加え、スコープ 3 (輸送・流通) となる物流 (製品輸送) の CO₂ 排出量の把握に取り組んでいます。

2020 年度のミネベアミツミグループの製品輸送による CO₂ 排出量は 105,996 トンで、前年度と比較して 2.1%増加しました。



資源の有効活用の取り組み

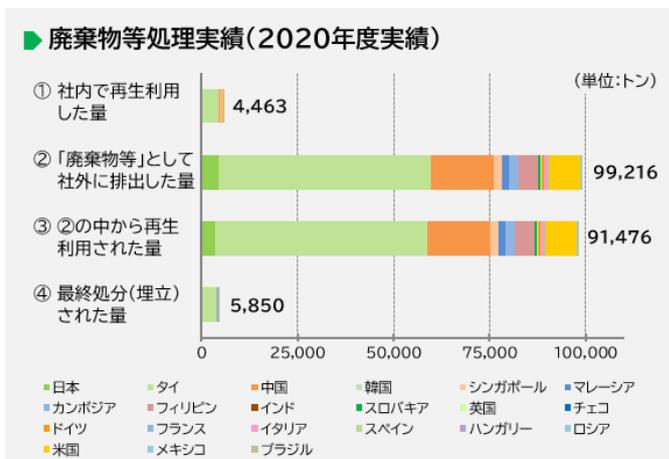
2020 年度の取り組み結果

2020 年度にミネバアミツミグループ全体で使用された主な原材料は、鋼材：約 100,262 トン、樹脂：約 21,178 トンで、合計量は前年度と比較して 7.8%減少しました。

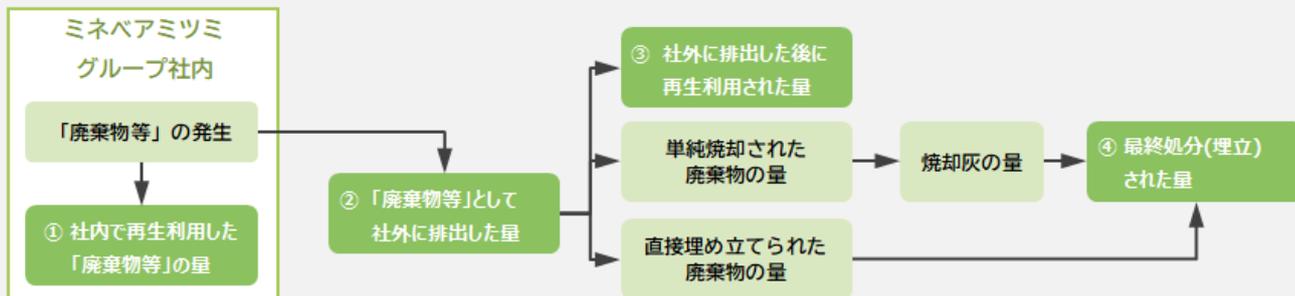
また、当社グループから社外に排出された後、最終処分（埋立）された廃棄物量は 5,850 トンで、前年度と比較して 15.6%減少しました。

尚、当社グループではタイや中国の量産工場において、工場内で発生した排水を可能な限りサイクルし、工場外に排出しない「工場排水ゼロシステム」を運用しています。

2020 年度の当社グループにおける工場排水量は 3,846,312 m³で、前年度と比較して 258,516 m³の減少となりました。



▶ ミネバアミツミから発生する廃棄物等の流れと把握方法



環境負荷物質削減の取り組み

事業所における取り組み

■ PRTR 物質の管理（日本）

日本国内の各事業所は PRTR 法（化学物質排出把握管理促進法）に基づき、PRTR 対象物質の取扱量、移動量を管理しています。

■ 2020 年度の報告実績

政令 番号	CAS No.	物質名	取扱量	排出量			移動量		消費量	除去 処理量
				大気	水域	埋立て	廃棄物	下水道		
20	141-43-5	2-アミノエタノール	4.92	0	0	0	0	0	0	4.92
53	100-41-4	エチルベンゼン	2.70	2.70	0	0	0	0	0	0
71	7705-08-0	塩化第二鉄	57.43	0	0	0	0	0	53.46	3.97
80	1330-20-7	キシレン	7.30	7.30	0	0	0	0	0	0
185	422-56-0	ジクロロペンタ フルオロプロパン	3.33	3.30	0	0	0.03	0	0	0
300	108-88-3	トルエン	14.00	14.00	0	0	0	0	0	0
349	108-95-2	フェノール	1.36	0.06	0	0	1.31	0	0	0
374	-	フッ化水素及び その水溶性塩	32.15	0.20	0	0	2.20	1.00	0	28.63
384	106-94-5	1-ブロモプロパン	1.62	1.28	0	0	0	0	0	0.34
438	1321-94-4	メチルナフタレン	3.29	0.15	0	0	1.35	0	0	1.79
合計			128.10	29.11			5.89		53.46	39.64